

No. 2 3 3 9 三条大橋～石山 (街道歩き)

2012年11月4日(日) 晴れ

参加者：片山晃、琴美 藤本 宮本 山城 中橋 (L/記)

京から江戸への街道としての東海道と中山道

三条大橋を始点とするならば、山科、大津を経て草津で両海道は分かれる。

8:30 京阪三条駅から地上に出て三条大橋を渡り、始点の弥次喜多像に寄る。

さあいよいよ出発の 記念撮影をする。

橋を渡り返して高山彦九郎像を拝し三条通りを東進。そろそろ晩秋の色香の漂い始めた京の街、蹴上浄水場の前を過ぎ少し進むと小道に入る。これが旧東海道で分岐に道標がないので見落としやすい。

山科宿に入ると由緒ありそうな六角のお堂は六地藏をお祀りしているお堂だった。撮影が済んでも立ち去り難くウロウロしていると留守番の人が出てきて「よかったらどうぞ」とお堂の中へ案内していただきました。「今日は住職さんがお留守なので 居れば中へは入れなかったかも・・・」 ラッキーでした。お堂の裏には蟬丸(人康親王)の供養塔があった。

道すがら造り酒屋の店先で酒粕、仙太郎本店でもなかを買ったりと、ショッピングも楽しみながらの街道歩き。

10:30 JR山科駅前着

11:30 伏見街道の分岐「みぎ ふしみみち」の大きな道標

11:50 3か所ある蟬丸神社の一つを通り過ぎるとうなぎのいい匂い。

程なく「これやこの 行くも帰るも別れては 知るも知らぬも あふ坂の関」で有名な逢坂の関。

ちょうど12時。広くはないが休憩所になっており昼食タイムとする。

ここで先刻買った仙太郎もなかを頂く(片山さんと山城さんの差し入れ) たっぷりと入った餡は甘味もちょうど良く空きっ腹にたちまち満たされる。ご馳走様でした。

残り2か所の蟬丸神社も参拝し名神高速の高架をくぐる。国道1号線と別れしばし161号線を歩く。札の辻の交差点を右折れし、東進していくと「露国皇太子遭難の地」の石標に出会う。

旧東海道の案内板にしたがい歩いて行くと「義仲寺」に着いた。

源頼朝軍と戦いこの地で討ち死にした義仲公(享年31)の御墓所である

松尾芭蕉は同寺をしばしば訪れ宿舎にしたという。大阪で客死した翁は「骸は木曾塚に送るべし」との遺言により遺骸を義仲公の墳墓の傍に葬られたという。30分程同寺を見物する。

膳所宿のはずれ「和田神社」の前を通り過ぎようとした時、地元の住人らしき人から「石田三成が繋がれたイチョウの木が境内にある」と教えて頂き早速境内へ。大木である。根周り4~5m位高さ20m以上はあるでしょう。関ヶ原の戦いの後捕えられた三成が京へ送られる途中に立ち寄った時に繋がれた木という。

膳所城跡を見送り南進してJRの線路を越えれば程なく石山駅(15:30着)

本日はこれまで。皆さま長時間の道路歩きお疲れさまでした。

神社仏閣が多く建立する街道なので、立ち寄る名所、旧跡、撮影ポイントも多く予定の草津まで歩けませんでした。次回もこのペースで歩こうかと思えます。